

初めは姓名判断 10年 800万円

統一協会被害者 五語る

統一協会(世界平和統一家庭連合)

に10年間で800万円以上支払った50代の女性が取材に応じ、被虐の実態を語りました。気軽に参加した「姓名判断」から数珠や壺(つぼ)の購入、「先祖解怨」など、弱みに付け込み、大金を叩き出す手口の一端を振り返ります。

(佐田文子)

クローズアップ

東海地方に住むBさんは

現在、弁護士に被虐を相談

し、その後の対応を考えています。

「もう戻りたくない」と考

えていたのではな

い」と考えていたBさん。

「夫との相性を確かめた

い」と考えていたBさん。

ないか」と話す一方で「先

祖解怨」はお祈りして納め

たお金で心が入っているも

の。返金させたりすると懲

いことが起るかもしれない

い」と、今も刷り込まれた

教義から抜け出せず複雑な

心境も吐露します。

きっかけは2008年だ

る、ポストに届いた「姓名

判断しませんか?」どう

う子育てがひと段落し時

はがきでした。

■家族を思つて

「夫との相性を確かめた

い」と考えていたBさん。

軽い気持ちで連絡を取り、

指定されたマンションの一

室に足を運びました。担当

の女性が名前の画数を聞い

たうえで印鑑や数珠を持つ

ているか尋ね、「実印はあ

るが、ちゃんとした数珠は

ない」と答えたBさんに約

40万円の数珠を賣つようだ

勧めます。

真剣に相談するBさん

はがきでした。

間もお金も少し余裕が出てきた時期。「これまで夫との関係がうまくいってないままじゃないからこの返済」で購入。その後、担当者がBさんにお礼の手紙が届き、「とても親切な対応だったため借用してしまった」。たため借用してしまった。

数ヵ月後、今度は電話で

「先祖や家系図と興味はない」と説かれ、家系図を

つくるために口書き原本を用意するよう言われます。親

近感があったこともあり謹本を渡しました。

「JのJのBさんは統一協

会とは明かされず、近くの

ビデオセンターに週一回ほ

ど通つようになりました。

毎回、靈界の存在や先祖の

怨念などが描かれた「ちょ

り込んでいる」ビデオを見

て、感想を話し合つた

いいます。

「姓名判断」から一年以

上たったばかり、ビデオセン

ターで統一協会だと明かさ

れます。「ひつひつしただけ

ど誰とも相談できない」

ことには抜けられなく

なりたがった」「あなたが先

祖の代表だから家を守らな

なっていい」「あなたが先

祖の代表だから家を守らな

なっていい」と、Bさんは

靈界を解約して

資金を確保するなど「私は

何をしているのか」と違和

感を持ちながら、「でも」

がつたJのBさんは

かわらぬこと

らせます。

聞かれ、事情があり一人中絶したと答えました。すると「その子が生きていればはず」「償いの気持ちで約200万円を納めなさい」と迫られます。

その後も19年まで「靈に憑靈が入るから家にあると家が守られる」と数百万円の靈や書籍、親族に不幸があつた際の「特別解怨」に支払ってきたといいます。

家族に打ち明けることはできていませんが、安倍晋三元首相が銃撃された事件を機に、「間違っていたのではないか」と考えるようになります弁護士に相談。「事件がなければ諦めていた」と

思います」

選舉になる「統一協会が

…」

「自民党の人を」とお願いされ、講演を聞いたJのBさんは詰められなくなりました。

靈や書籍は仏間の奥などにしまい、処分に困っています」と語るBさん。「自分が信じてきたことが靈感商法だったのか本当のことを知りたいけど、ウンだと分かればそれはそれでショックかもしれない」と表情を緩